アドバンスラボ 共有方法について

アドバンスラボでは以下のようにファイルメーカーPro12以上を使用してデータにリア ルタイムでのアクセス、データの一元管理が可能です。共有方法はファイルメーカー Proの仕様に準じますが簡単に共有方法をご説明致します。

基本的にはアドバンスラボのファイルを保存、配置しているホスト側の端末でアドバ ンスラボをファイルメーカーProで起動して、共有のための設定を行います。設定を行 うとLANで接続された端末でホストとして起動しているアドバンスラボにアクセスでき るようになります。最大で5台までの通信が可能です。

予め全ての端末には個別のライセンスのファイルメーカーPro12以上をインストール しておく必要がございます。



1. ホスト端末での設定、操作

予め、ホスト側の端末のデスクトップ等にアドバンスラボのフォルダを保存、配置しておいてください。最初にホスト側(サーバー)となる端末側で、「AdvanceLABOスタート」をWクリックで起動して、初回のみ以下のように「ファイル」→「共有設定」→「FileMakerクライアントと共有」を選択して共有(通信)のための設定を行います。初回以降は「AdvanceLABOスタート」をWクリックで起動するのみの操作となります。



ネットワーク共有を「オン」にして、「すべてのユーザ」を選択し、「OK」ボタンを押して、共有のための設定は終了です。クライアントの端末からアクセスできるようになります。



クライアントからの接続のためのIPアドレスが表示されます。

【その他/注意事項】

ー度上記の設定を行うと次回からはファイルメーカー起動時に共有開始の状態になりますの で上記作業は必要ありません。AdvanceLABOスタートをWクリックして起動のみで結構です。 「オン」を選択した際にセキュリティの画面が表示された場合、ブロックを解除してください。

通常パソコンを購入した時にはIPアドレスを自動的に取得する設定となっている場合が多いの ですが、他端末で通信を行う場合は、ルーターで端末の住所であるIPアドレスを手動リース等 で固定することをお勧め致します。もしルーターでの手動リースが出来ない場合は端末側で固 定IPアドレスの設定が可能です。社内にネットワーク設定に詳しい担当者がいない場合はお近 くの保守業者等に委託して設定いただくことをお勧め致します。

ホストとなる端末はクライアント数やアクセスの頻度により、十分なパフォーマンスを発揮する ためには、性能の良い端末でメモリなどを多めに搭載してください。性能が不十分だとパフォー マンスが落ちる他、フリーズなどを起こして共有しているデータが損傷する可能性も高くなりま す。万一に備えてパソコン外のUSBメモリ等にバックアップをまめに取ることをお勧め致します。

上記共有を行うためには、会社内で端末同士をLANで接続する必要があります。無線LANは 電波障害などで接続が不安定になる場合がございます。接続が不安定になると通信を行って いるデータが損傷する場合もございますので、より安定した接続が可能な有線での接続をお勧 め致します。

クライアントからアドバンスラボを開く場合、次の2の方法で必ず開いてください。Windowsの共有フォルダ等に入れて開かないようご注意ください。

FM共有OPENのソフトを利用すると簡単にホストされているアドバンスラボを起動できます。下 図のアイコンをWクリックするとファイルメーカーProを起動して、以下の画面が開きますので、 アドバンスラボをホストしているパソコンのIPアドレスを入力して「起動する」ボタンを押すと自動 でホストされているアドバンスラボを起動できます。



IPアドレスは1の設定画面の「TCP/IPアドレス」の欄に表示されています。

ファイアウォールソフトなどがインストールされている場合、ファイルメーカーProの共有機能が ご利用になれない場合があります。機能がご利用になれない場合にはお使いのファイアウォー ルソフトのサポートにお問い合わせの上、ファイルメーカーProでの共有ができるよう設定して いただく必要があります。

上記の操作でアドバンスラボがうまく起動しない場合は、FM共有OPENの「共有ファイルを開く」 ボタンを押すとファイルメーカーProの共有ファイルを開く画面が表示されますので、ホストを選 択して、「AdvanceLABOスタート」を選択後、「開く」ボタンで手動で開くことができます。この画 面でホストが表示されない場合はホストの端末でうまく設定が出来ていない可能性がありま す。再度設定をご確認ください。

| 🧟 FM共有 | 共有ファイルを開く | × |
|--|---|---|
| ファイル(F) ヘルブ(H) FM井 (起動) (起動) | ^{表示(V):} □-カルホスト v ホスト(H) DELL-PC (DELL-PC.local) ホストを選択 (ホスト名は端末に より変わります) | 使用できるファイル(F) フィルタ(T): Q AdvanceLABOスタート AL_Data AdvanceLABOスタートを 選択して「開く」ボタンを押す |
| 起動 | お気に入りに追加(A) ネットワークファイルパス(N): fmnet:/DELL-PC.local/A 例 - fmnet:/ホストの IP ア | な気に入りに追加(D) dvanceLABOスタート ^S レスノファイル名 開く キャンセル |

以下の手順が日常の共有の流れとなります。

| ホスト(サーバー)の端末 | クライアント端末 |
|---|---|
| ホストの端末上で アドバンスラボを起動する。 (起動後、ログイン 画面のままでも可) | |
| 必要な場合、 入力作業などを行う。 | クライアント端末から 上記2.の手順でアドバンスラボへ 接続する。 |
| Ļ | 作業を終了したら 終了ボタンで終了する。 |
| 共有(通信)している クライアント端末の作業が 全て終了したらホストの端末の アドバンスラボを終了する。 | |

受注入力や確認作業、納品書印刷などはクライアントの端末からも同様に操作可能です。請求書データ作成作業、集計作業は負荷の高い作業となりますので、他クライアントから共有 (通信)していない状態で、ホストの端末のアドバンスラボを起動して作業を行っていただくこと をお勧め致します